

活セン ニュース

2016年10月号

発行：いなべ市市民活動センター TEL：0594-74-5806 FAX：0594-74-5834

市民活動センターは、住みよいまちづくりをすすめる市民活動団体、ボランティア団体の活動を応援するところです。

市民がつくる、住みよいいなべのまちづくり、あなたも参加しませんか？
あなたの手を、力を、アイデアをかしてください。

チラシ超実践セミナー開催！

～ヒトが集まる みんながヨロコブ～

広告のプロが教える「具体的な」チラシ作りのノウハウ

市民活動で、会報やチラシ、ポスターなどもっとうまく作るにはどうしたらいい？
そんな方に耳寄りなセミナーです。

◇ワードでもプロ並みのチラシ（レイアウト、文字、色、イラスト）

◇ちょっとした工夫で見違えるチラシ、ビフォーアフター



●日 時：11月12日（土）9：00～12：00

●場 所：いなべ市市民活動センター会議室（員弁健康センター2階）

●参加費：無 料 ●定員 20 名（先着順）

●講 師：瓦 谷 理 地域密着型広告代理店「ケーエス」代表
鈴鹿のフリー情報誌「鈴鹿マガジン」編集長

*参加希望者は、市民活動センターへ電話、メールにてお申込みください。

イベントのお知らせ

10月15日（土） 市民感謝祭

10月16日（日） 企業5社合同 北勢線沿線クリーン作戦

11月 6日（日） デンソーグルメフェア

11月13日（日） そばまつり

ソーシャルビジネス支援セミナー（助成金講座）を開催

～いい文章だけでは通用しません、その先の・・・

9月13日（火）、当センター会議室で、いなベソーシャルビジネスネットワークによる、ソーシャルビジネス支援セミナーを開催しました。講師に、津市 NPO サポートセンター理事長 川北 輝さんを迎え助成金の申請のコツを学びました。

地域づくりや社会の課題に取り組む団体を応援するために、団体、企業がいろいろな助成金を用意しています。助成する側の意図をよく理解し自分たちの活動に合う助成金を探すこと。また、「申請する側は、普段の活動のための資金がほしいと考えがちですが、**助成する側は、一定の期間を設けて事業を計画し、その事業が生み出す成果を（助成金）申請に盛り込んでいる団体に、活用してほしいと考えている**」と話されました。

参加者は「助成金申請をしたことはあるが、今回講座を受けて、よりはっきりと理解できました」と感想をいただきました。また、二部では、日本政策金融公庫四日市支店より、ソーシャルビジネスへの取り組みと、融資の説明がありました。

助成金については、ホームページなどでたくさん紹介されています。詳しい内容をお知りになりたい方は、お気軽に当センターにご相談ください。

*ソーシャルビジネス＝社会的な課題を解決するため、継続可能な事業を展開し、解決にあたる。



いなベノルディック・ウォーク愛好会

イオンモール 健康フェア

9.17～9.25



しせいを語る会

スポーツの秋、到来！ イオンモール東員 1 階のカブキコートにて、健康フェアが行われ、当センターから「東員楽吹塾」「いなベノルディック・ウォーク愛好会」「しせいを語る会」「いなベ市レクリエーション協会」の 4 団体が参加しました。気軽にできる運動や体操、姿勢のチェックなど誰でもできる内容とあって、会場ではチビッコからシニアの方々まで大勢の方が立ち寄っていました。



東員楽吹塾



いなベ市レクリエーション協会

大人も子供も楽しめるバグーに列ができていました！



【絵手紙サークル百合の会】



普段は月 1 回講師を招き、絵手紙を習っています。今回は、代表の伊藤さんとメンバー 8 名が北勢町阿下喜の介護老人保健施設「銀花」を訪問し、通所される方 15 名に体験していただきました。ピーマンやかぼちゃなどの夏野菜を題材にしての絵手紙体験。はじめはおっくうで首をふる皆さんでしたが、百合の会の皆さんの手ほどきで、筆を動かす始めます。「ナスにみえる〜?」「なんて書こう〜?」とみんなの中から笑いがおこりました。絵手紙を通して交流ができ、楽

しい時間になりました。このようなレクリエーションは初めてと施設のスタッフの方にも好評でした。百合の会の活動が広がるといいですね。

【ひまわりグループ】

第 1・3 月曜日にいなべ総合病院・小児科の待合室で絵本の読み聞かせを行う。会のメンバー 12 名が 2 名ずつ交代で参加します。

10ヶ月の赤ちゃんを診察中、3歳のお兄ちゃんをみてもらっていたママさんは「すごく助かるんです。妹が通院しなくてはいけなくなり、兄は元気に走り回るので・・・月曜に合わせて予約を取っているくらい。」と喜んでみえました。



【いなべ山造り塾】



いなべ市内の人工林と里山の手入れを通じて、地域の活性化を目指す山造り研究所の鬼頭さんが 9 月 17 日、18 日と藤原町山口で山仕事のキホン講習会を実施。「森の健康診断」では、調査の仕方や診断結果から森の混み具合、山の手入れ目標などが百円グッズで簡単に数値化できることなどを学びました。その後、参加者同士の意見交換も行ないました。

翌 18 日、「森のデザインとチェーンソー技術講習会」では、兵庫県丹波から中島彩さんを講師に迎え、雨にもかかわらず 16 名が集まりました。元クラシックバレエダンサーから林業士という経歴、かわいい声でチェーンソーの説明というギャップが・・・とてもカッコいい！力のない女子にもできるんだと驚かされました。「チェーンソー」、山づくりにはかせないが、度々事故のある危険な道具ということでイチからの指導。安全に木を伐倒するには、受け口・追い口を切り込み、木の上部にかけたロープで引っ張って倒していくこと。初めてチェーンソーを扱う人も、慣れている人も数ミリを微調整する「アクセルワーク」の練習をしました。参加者は「とても面白かった」「山って奥が深い」と目からウロコの技に感動されていました！やはり間伐整備された山は気持ちいいですね♪

>>> 今後の予定 10/29(土)~30(日)、11/12(土)、12/3(土)

助成金のお知らせ

下記のほかにたくさんホームページで照会されています。詳しくは当センター、または各事務局へ直接お問い合わせください。

地域の社会福祉や文化の振興事業

▶社会福祉や文化振興事業で経費の2分の1以内で100万円を限度

申込 2017年2月1日まで

問合せ 公財 くわしん福祉文化協力基金 ☎0594-24-2558

キリン福祉財団 シルバー「力」応援事業

▶高齢者が、地域のためにその知識、技術、経験を活用するボランティア活動

助成額 1件 30万円以内

申込 11月7日まで

問合せ 公財 キリン福祉財団 ☎03-6837-7013

子育て応援事業

▶地域における子育てに関わるボランティア

助成額 1件につき上限30万円

申込 11月7日まで

問合せ 公財 キリン福祉財団 ☎03-6837-7013

環境活動助成

▶環境市民活動に必要な経費を支援（緑化・植花・清掃など）

野生動植物の保護。保全にかかる活動、体験型環境学習活動など

助成額 任意団体1団体あたり 上限50万円

申込 12月10日まで

問合せ セブンイレブン記念財団 ☎03-6238-3872

「初期活動」助成

▶市民自ら行う社会貢献活動で、団体の活動開始が5年未満の団体が活動を継承発展するための支援

助成金額 上限 30万円

申込 10月31日まで

問合せ あいちモリコロ基金相談コーナー ☎052-971-7770

いなべ市市民活動センター

員弁庁舎敷地内 員弁健康センター内 2階

TEL (0594) 74-5806 FAX (0594) 74-5834

MAIL i.shiminkatu@m7.cty-net.ne.jp

委託事業運営者 NPO 法人 いなべ市民クラブ

